

1999

2月号



359

広報

かわち

成
人
の
日

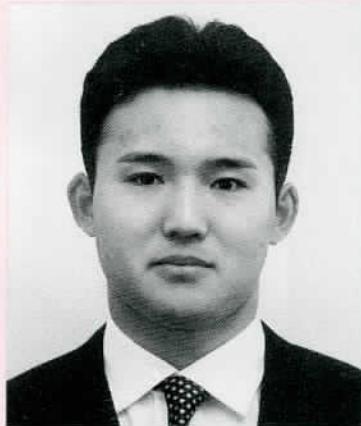
新
た
な
る
旅
立
ち

KOHO
KAWACHI

祝 成 人 式



145人が大人の仲間入り



岩橋 弘明さん
(田川)
いわ はし
ひろ あき

1月15日「成人の日」。当町では今年、145人が大人の仲間入りをし、二十歳を祝って環境改善センドーなどで式典やパーティーが行われました。

式典では、新成人を代表して岩橋弘明さん(田川)

が『誓いの言葉』を述べ、また、『はたちの提言』が各分館ごとに7人の代表によつて行われ、二十歳になつた感想などを発表しました。

新年を迎えるこの佳き日に新しく成人となる私たちの為にこの様な盛大な式典を催していただきまして誠にありがとうございます。

また、ただ今は、町長をはじめ、ご来賓の皆様から心温まる祝福とはなむけのお言葉を頂き、私たち成人者一同心よりお礼申し上げます。

私たちは、社会人としての第一歩を今日踏み出しました。感激と期待で胸が高なる一方、不安もあり、その責任の重さに、身の引き締まる思

いが致します。

私たちがこの世に生を受け、育つた二十世紀は、科学、工業、経済が急速に発展を遂げた一方、便利さと豊かさを求め過ぎてしまい、環境汚染や人間疎外等、多くの難題を残しております。しかし、私たちは、困難や不安が多いからこそ、『生きがいのある時代である』と発想の転換を図り、多くの困難に打ち勝ち、自分の道を着実に切り開いて行く覚悟でございます。

私たちは、これまで両親をはじめ家族や学校の先生や地域の人達に温かく見守られ教えを受け育まれてきました。本日、新たなる門出を迎える事ができましたのも、こうした皆様のおかげであると、常に感謝の気持ちを忘れず、これからは、自分の行動に責任を持つと共に少しずつ地域や社会に貢献できるよう努力する事を宣誓し誓いの言葉と致します。

誓いの言葉



二十歳の提言

今日晴れて成人式を迎えて、二十歳になつた今、これから的人生においての場面場面での行動はすべて自分の責任で決断しなければならなく、これまでと大差のない自分に不安を隠せません。しかし、責任を負うことに対して悲観的になることなく、自分が社会の一員として認められたんだと誇りをもち、プラスの方向に考え、自信をもつて行動し自立していかなければなりません。

自分の意見を持ち 発言できるように

しら いし ひろ ゆき
白石 宏幸さん
(第1分館一浄玄)

す。失敗も数多くするでしょうが、それを良い経験とし、二十一世紀新時代を担う者として自分に磨きをかけ、その上で社会で起る様々な問題に對して自分の意見を持ち、且つその意見を発言することができるようになり、もしもそれが不十分であつたならば改められるような、柔軟な考え方を持つ人間でありたいと思っています。

現在、日本では、高齢化社会への突入や長引く不景気、そして世界規模では、環境問題や人口問題、地球温暖化に代表される異常気象と、お先真っ暗な時代になり、私達にも柔軟な思考と、主体的な判断が求められます。実力主義の世界になりつつあります。私達がこれまでの二十年で培ってきたものは、これから生き方しだいで、零にも百にもなると思います。

これから歩む道は、私達自信で造っていくものであり、それは大きな希望と共に、不安もついてくると思います。それでも一步一歩着実に前進していくような、前向きな態度で臨みたいと思います。“少年老い易く学成り難し。”という句があります。これからも謙虚な気持ちで精進し、良き人生を送りたいと思いま



歩む道は自分自身 で造っていく

の ざわ まさ かず
野沢 正和さん
(第2分館一四ツ家)



二十歳の提言



積極的に社会に貢献していきたい

せき かわ まさ み
関川 雅美さん
(第3分館一広田)

とかく今迄甘えが先立ち、人々の迷惑になるようなことも致し、未成年ということで許される事がが多いと思います。これからは一人前の人間としての自立が求められており深く反省したいと思います。

さて、現在我が国は、経済不況に加え、様々な社会問題が起きております。私達はどうやらかと言えば物の豊かさと安定した社会状況の中で育てられたと思います。しかしこれらはそろはいきません。色々な困難が予想されます。このことをしっかりと受けとめ、人に対する思いやり

の心を持ち、社会の一員として自分の行動に責任を持って強く生きて行こうと思います。

間もなく二十一世紀を迎ますが、より広い視野に立ち積極的に社会に貢献できるよう、日々努力を続けることが必要とされます。今日の良き日に当たり、以上の心構えを持つて一歩一歩精進して行くことを“二十才の提言”と致します。



二十一世紀の担い手として

おか の けん じ
岡野 賢司さん
(第4分館一下組)

一年たてば一歳年をとるという自然の原理に身をまかせ、私達は二十歳となり、今大人としての新たなスタートラインに立たされました。これからは大人としての責任ということを常に頭に入れ、行動していくかなければならないと決意を新たにしました。

間もなく始まる二十一世紀、この河内町で学び得ることを忘れず“二十一世紀の担い手”という大役を果たしていきたいと思います。

社会人として認められるよう努力

しの だ さ よ こ
篠田佐代子さん
(第5分館一片巻)

家族や周囲の皆様方の祝福を受けこれから私達は自分の力で人生の目標に向かって一歩一歩、歩んでいかなければなりません。幼い頃よりずっと一緒にいた友達、それぞれ進む道は違つても共に喜び助け合い、そしていたわりや相手を思いやることの出来るそんな友達に恵まれとても幸せです。私がこれから歩んで行く人生の中で大きな役割を占める事でしょう。

まだ人生の一步を踏みだしたばかり。



今日という日を 新たな出発点として

すがぬまみゆき
菅沼 美幸さん
(第6分館一中金江津)



りの私達、人生の先輩方より多くの事を学びながら自分の行動に自覚と責任を持てるよう自立して、社会人としても認められるよう努力しているたと思っています。

まだまだ未熟な私達ですので周囲の方々の御協力を得なければならぬ事が数多くあると思いますが、温かく見守りお導きください。

今日は日を境に大人として世間から認められることとなります。これまで、自立することを忘れ、甘えてしまったように思います。自分に甘くただ毎日を当たり前のよう過ごしてきました。しかし、これからは目標を持ち、日々努力を忘れず、自分の力で未来を切り開き、自立していこうと思います。

私は、昨年春、無事学生生活を終え、社会への第一歩を踏み出してからもうすぐ一年になります。ですが、人生の先輩方から学ぶことは数多く、自分の未熟さを身にしみて感じる毎日です。今日という日を新たな出発点とし、大きな壁にぶつかつた時も人に頼ることなく、自分の力で乗り越え未来へと確実に歩んでいかねばなりません。そのためには、生活の中でも学ぶことを忘れず、これまで私が学んできたことを生かしながら、大きく成長していきたいと思います。

これからは、自分の行動に対しても責任と自信を持ち、一人の大人として少しでも社会に貢献していきたいと思っています。まだまだ未熟ではございますが、今日大人への第一歩を歩み出した私たちを、これまで同様に温かい目で見守っていただきたいと思います。

二十歳の提言

逃げずに立ち
向かう勇気を

木村百合子さん
(第7分館一平川)



私が今まで歩んできた二十年という月日を振り返ると、様々な人の出会いがありました。素敵な出会い、一生付き合って行くであろう人ととの出会い、そして辛く悲しい想いをした人との出会いも私を大きく成長させてくれたのです。そんな出会い

いがあったからこそ、私は今、こうしてここに居ることができます。そして、本日成人の日を迎えるにあたって祝福されるのと同時に今まで出会った方々、一生懸命支えてくれた家族に感謝致します。

今までの私は嫌だな、辛いなと思うことから少し逃げていたような気がします。そんなことから逃げずに立ち向かう勇気を持つことが目標の一つであります。そうでなければ私はこれ以上成長することができないでしょう。自分の前に道が二つ分かれた時進むべき道はどっちが良いかではなくて、どっちが辛いかを選ぶとそれは割合正解につながっているのではないかと思います。そして、平気で嘘をつくような大人になりたくありません。毎日を淡淡と過ごすのではなく今までの経験を生かし、前向きな姿勢で生きていきます。

最後に、私が日本を支えるとか、二十一世紀を担うとか言えませんが、成人となる人、一人一人がこうして自分自身の事をよく考える事、自覚することが大切であり、それが周囲に大きく影響を与えると思います。

第4回河内町議会定例会



平成10年第4回町議会定例会が、12月9日から15日まで開かれ、報告2件、一般会計補正予算などの議案7件を審議可決、平成9年度各会計の決算を認定しました。また、野高町長が諸報告を行いましたので、その概要をお知らせします。なお、一般質問の概要については、次号でお知らせします。

諸報告 II 野高町長

本年度の転作につきましては農家の皆さん方のご協力によりまして100パーセントを達成することができましたことをご報告いたします。

現時点で100.2パーセントです。又、来年度の転作配分指示面積は本年度と同じく907ヘクタールの指示がまつてあります。来年も大変厳しい状況であります。

が、奨励金については、本年度同様前払いなど転作者に対し幾分なりとも経済的にマイナスならないような方策を検討しておりますので尚一層のご協力をお願い申上げます。

又、今年の県南部の作況指数は95のやや不良ということで、株式会社ふるさとかわちでの米の買入れ状況は高騰になるのではとの予測から目標5,500俵のところ約3,000俵の買入れ状況であります。どうが皆さん方におかれましても買入れにつきましてよろしくご指導方お願いいたします。

1月18日に入札を行いました直販センターにつきましては12月2日に地鎮祭を行い3月完成を目指しております。このセ

ターナーの完成により地域産業も取

り入れ、商業の発展あるいは農業を目指すための拠点になればと考えております。

P.R事業につきましては12月16日から18日までの3日間、東京亀戸駅にて実施をする予定であります。皆さん方のご協力を

お願い申上げます。

10月10日、町民運動会、11月3日のいきいき祭と町あげのイベントを実施をいたしたところです。天候にも恵まれ町民一同に会して盛大に催され、又、10月4日には敬老福祉大会、11月16日には戦没者追悼式を実施をしたところであります。皆さんには多数ご参加をいただきましてありがとうございました。皆さんは多数ご参加をいたしましたところであります。皆さんには多数ご参加をいたしましたところであります。皆さんには多数ご参加をいたしました。

11月2日に空港公団に対する茨城県の相談窓口として、旧JA稻敷長竿支所跡に茨城地域相談センターが開所されました。

常時2名の職員が駐在しておりますので、どうか、お気軽にご相談をと呼び掛けっておりますのでよろしくお願いいたします。

以上で、諸報告を終わります。

今年で第4回目を迎えた地域懇談会が10月30日より各分館ごとに開催をいたしまいました。出席されました町民の方々には大変ご苦労様でした。身近な問題あるいは意見や要望などを出され新しい町づくりの参考にさせていただく考えでおります。

10月3月25日に公布され、本年12月1日から施行するに当たり、町税条例の一部を改正する条例の専決処分が承認されました。

たところであります。ご協議さ

れまして、この死亡事故0運動

議において十分検討・協議をし、民主的に対処していきたいと思

います。

報告

河内町税条例の一部を改正する条例の専決処分について

特定非営利活動促進法が平成10年3月25日に公布され、本年12月1日から施行するに当たり、町税条例の一部を改正する条例の専決処分が承認されました。

第2期経営報告がありましたので、地方自治法第243条の3第2項の規定により議会に報告され承認されました。

河内町税条例の一部を改正する条例について

第2期経営報告がありましたので、地方自治法第243条の3第2項の規定により議会に報告され承認されました。

議案

河内町公表式条例の一部を改正する条例について

次に、城取清掃工場の操業停止問題であります。この件につきましては議員各位には開会前の全員協議会でご説明を申し上げたことに伴い、掲示場の名称を変更するもので可決されました。

議会だより

3月完成に向けて、工事が進む直販センター

新清掃工場の愛称は 「クリーンプラザ・龍」

工事もいよいよ最終段階 今年4月から試運転開始

龍ヶ崎市板橋町で建設中の新清掃工場は、今年4月からの試運転稼働に向け工事が急ピッチで進んでいます。工事本体の外観は大部分が完成し、焼却炉や灰溶融施設などプラント機器の据え付けも終了しました。工事は現在、電気設備や配管、プラント機器の調整など最終段階に入っています。

試運転が始まると、通常のごみを実際に燃やします。つまり、龍ヶ崎市・利根町・河内町から出されるごみは4月から、すべて新清掃工場で処理されます。



▲表彰される考案者の亀田誠男さん

最新設備と最高技術を兼ね備えダイオキシンなど公害の心配がない新清掃工場は、全国に誇れるごみ処理施設です。龍ヶ崎地方塵芥処理組合（龍ヶ崎市・利根町・河内町で構成）では、「より親しんでいただける施設にしたい」と昨年秋、構成市町村の皆さまを対象に新工場の愛称「クリーンプラザ・龍」を募集しました。

お寄せいただいた愛称は、全部で79点。いずれの作品も新清掃工場への期待や、将来に向けた環境保護など、お寄せいただいた愛称は、全部で79点。いずれの作品も新清掃工場への期待や、将来に向けた環境保護などを願つたすてきな名前ばかりで選考は難航しましたが、

決してした愛称は、処理組合が目指す「親しまれ、誇れる清掃工場」を象徴し、今後は施設紹介パンフレットや各種のお知らせなどに活用されます。

▲新清掃工場全景。外壁の基本色は周辺の緑にマッチした「グリーンフォグ」と呼ばれるやわらかな緑色です。

議会だより

河内町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

住民税において、平成9年12月末をもって分離課税が廃止されたことに伴い、国民健康保険税の特例（所得割按分基礎）を廃止し可決されました。

河内町道路線の認定について

住宅開発の寄付行為申請道路、町道1327号線、1329号線及び3129号線と、新たに税6、957万7千円、並びに特別会計繰入3、981万7千

一般会計は、歳入歳出予算の総額に3、958万2千円を追加するものです。

平成10月16日、国において「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律等」が公布され、さきに行われ

河内町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

平成10年度一般会計をはじめ、各特別会計、水道事業会計の決算が認定されました。詳しくは、次の8・9ページをご覧下さい。

平成10年度各会計の決算の認定について

の認定が、可決されました。

10年度各会計の補正予算について

円を増額し、町民税5、470万円、町債4、540万円を減額するものです。

歳出の主なものは衛生費の塵芥処理費3、944万3千円、民生費の介護保険事業費387万5千円を増額するものです。

6日(木)御用始め、庁議

7日(木)利根町消防出初式、農業委員新年会

8日(金)郡町村長・議長合同新年会

9日(土)手をつなぐ育成会新年会

10日(日)河内町消防出初式

11日(月)空港公団副総裁来庁、民生委員研修会(→12日)

14日(木)緊急生産調整本部会議、安全協会・母の会合同新年会、懇談会

15日(金)成人式典

18日(月)介護保険打合せ、教育講演会、予算査定

19日(火)郡遺族会新年合同役員会

20日(水)県南総合事務所長来庁、水道査定

22日(金)都市計画審議会、太子講、塵芥処理組合管理者会議、龍ヶ崎地方衛生組合管理者会議、龍ヶ崎地方広域管理者会議、稲敷人・民俗資料・文化財委員合同研修(→26日)

25日(月)負担金審議会、町史編さん会研修(→26日)

26日(火)農用地利用銀行運営協議会研修(→27日)

27日(水)ふるさとかわち職員採用面接、防犯連絡協議会受賞祝賀会

28日(木)ボランティアさつき会新会

29日(金)県営圃場整備事業新利根北岸地区竣工式

1月

町長の動き

平成9年度決算のあらまし

町の家計簿

平成9年度の歳入歳出決算が、昨年12月の町議会定例会で認定されました。「住みよい町」づくりのために使われたお金（一般会計）は47億1、567万円でした。



1,567万円

民生費

福祉と明るい町づくりに

保育所運営費	2億1,187万円
老人福祉費	1億1,831万円
社会福祉総務費	1億3,307万円
福祉センタ・管理運営費	7,867万円
身障者福祉費	1,790万円
国民年金費	1,530万円
.....など	

総務費

住民サービスの向上に

一般管理費	2億6,504万円
木と緑のふれあい公園整備事業費	5億1,587万円
企画費	2億659万円
共同利用施設建設費	1億5,609万円
税務総務費	6,110万円
賦課徴収費	3,956万円
戸籍住民登録費	3,693万円
.....など	

農林水産業費

農業の発展のために

農業総務費	1億5,948万円
新生産調整推進対策費	1億1,460万円
農産物产地育成事業費	6,592万円
農業委員会費	4,097万円
農業振興費	2,682万円
21世紀型水田農業モデル事業費	2,017万円
.....など	

教育費

教育と文化の向上に

小学校費	3億148万円
学校給食費	1億3,452万円
社会教育費	8,141万円
教育総務費	6,070万円
中学校費	9,433万円
幼稚園費	2,938万円
保健体育費	1,168万円
.....など	

土木費

快適な町づくりに

公共下水道費	1億2,888万円
道路新設改良費	1億8,450万円
土木総務費	6,442万円
道路維持費	5,258万円
都市計画総務費	1,801万円
.....など	

消防費

安心な暮らしのために

非常備消防費	4,442万円
防災費	1,143万円
.....など	

衛生費

清潔で健康な生活のために

塵芥処理費	2億3,459万円
環境衛生費	9,754万円
老人医療給付費	8,753万円
保健総務費	4,491万円
し尿処理費	4,918万円
医療福祉費	4,520万円
衛生総務費	2,220万円
.....など	



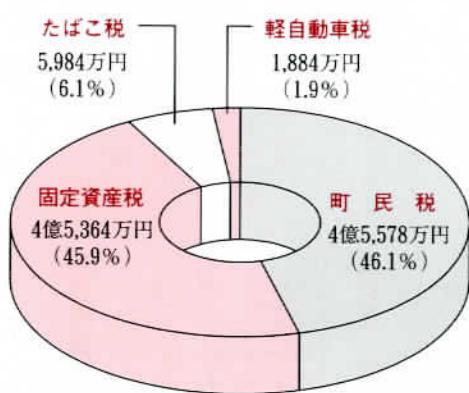
50億2,917万円

歳入

歳出

47億

町税収入の内訳



特別会計決算状況

☆国民健康保険特別会計

歳入	9億2,595万円
歳出	8億6,660万円

☆老人保健特別会計

歳入	9億 235万円
歳出	8億6,078万円

☆下水道特別会計

歳入	6億7,222万円
歳出	5億6,214万円

☆水道事業会計

- ・収益的収入および支出

収入	3億2,498万円
支出	2億8,704万円
- ・資本的収入および支出

収入	1,212万円
支出	9,620万円

地方交付税

19億9,517万円

町 税

9億8,810万円

町 債

4億9,990万円

諸 収 入

3億2,335万円

繰 入 金

2億6,974万円

繰 越 金

2億3,926万円

県支 出 金

2億 58万円

地 方 譲 与 税

1億3,572万円

そ の 他

3億7,735万円

※金額は、一万円以下を省略しました。

総務費

14億1,999万円

教育費

7億1,354万円

衛生費

6億3,338万円

民生費

6億2,826万円

農林水産業費

4億5,935万円

土木費

4億5,800万円

公債費

2億3,680万円

議会費

1億 571万円

消防費・商工費

6,064万円

町税負担状況



財政支出状況



* 人口 12,118人 世帯 3,154世帯 (平成9年4月1日現在)

地域で子供たちを守ろう!

『子どもを守る110番の家』

PTA からご協力のお願い



会長 鈴木 実
(事務局一河内中学校)
84-12355

後日、皆様のご家庭にPTA役員が伺いました際には、本事業の趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますようお願いいたします。また、事前にご協力いただける方は、お手数ですが地元の小学校または中学校までお電話いただきますようお願いいたします。

子供の安全を守ることを第一の目的として、また、子供たちを地域で育てるという意識の高揚につながれば、さらに効果的な事業になるものと考えています。

事件等の被害が大変多くなり、憂慮すべき事態となっております。そこで、町PTA連絡協議会では変質行為や誘拐の前兆となる声かけ、急病や事故等に遭遇したとき、気軽に助けを求められる「子どもを守る110番の家」を発足することになりました。

「子どもを守る110番の家」とは



ボランティアとしての活動であり、子供たちが知らない人から「声かけ、ちかん、つきまとい」等の被害を受けたとき、安心して避難できる一般家庭、商店、企業等で在宅している皆さんに、子供たちの安全な保護と同時に110番通報する等の協力をしていただく「家」をいいます。不在の場合、連絡ができなくとも責任を伴うものではありません。

連絡先	生板小学校	源清田小学校	長竿小学校	金江津小学校	河内中学校	金江津中学校	竜ヶ崎警察署生活安全課
62-10110	84-12355	84-12622	84-12262	84-12355	84-12262	84-12355	84-12430
	84-12355	84-12262	84-12355	84-12355	84-12262	84-12355	84-12430
	84-12355	84-12262	84-12355	84-12355	84-12262	84-12355	84-12430
	84-12355	84-12262	84-12355	84-12355	84-12262	84-12355	84-12430

県内で初の

航空機事故対策総合訓練を実施します



航空機が墜落したことを想定して、当町外10市町村、県防災航空隊、警察署、医師会、NTT、東京電力、阿見・筑南広域・稲敷広域消防本部等の参加により、関係各機関が緊密な連携のもと迅速な行動をとり、消火救援の活動手段の習熟と、災害発生時の被害の軽減を図ることを目的として実施されます。

◆ 参加機関 20機関
◆ 参加人員 450名
◆ 出動車両 70台

◆ ヘリコプター 1機

「航空ジャンク市」

■日時 3月20日(土)
21日(日)
22日(月)

■場所 航空科学博物館
1階多目的ホール

■料金 入館料のみ

■内容 普段なかなかお目にかかる航空部品、機内用品等を格安のお値段で販売する、大変ご好評いただいているイベントです。

■連絡先 0479-78-0557

成田航空博物館からのお知らせ

街のできごと



消防団員や関係者ら約300人が参加して、環境改善センター前の駐車場で行われました。

団員の皆さんは、人員、服装、機械器具の点検などをきびきびした動作で行い、今年一年の消防活動への決意を新たにしました。

この後、環境改善センター内に会場を移し、野高町長からの講評訓示、優良分団や団員の表彰、来賓の方々の祝辞などがあり、自主防災への原点ともいえる消防団が、防災にかける意気込みをアピールしました。なお、受賞者は次のとおりです。

消防出初式 消防活動への決意新たに

消防庁長官表彰 (敬称略)

勤続15年以上退団者

寺本信也 竹尾一弥 吉原悦男

鈴木誠一郎 鈴木善則

県知事・県消防協会会長表彰

最優秀消防団員

平川和文

優秀消防団員

根本幹朗

勤続5年以上15年未満退団者

中山聰 谷津高 小更喜一 小更法男

成島勇 落合諭 沼崎義広 栗山昌良

青野清 光野武男 竹尾尚三 森田潔

海保光一 青山準一郎 江口正秀

田仲秀行 卯月靖弘

県消防協会県南南部連絡会長表彰

功労章

高野衛

県消防協会稲敷支部長表彰

分団表彰

第一分団
大野貢

個人表彰

町優良団員町長表彰

遠路一也 仲久木克美 石井一夫

小島通世 斎藤涉 糸川一夫

鈴木達也 小更行仁 松丸浩吉

小川孝生 桜井祥一 榊原久利

町優良団員町長表彰 江口善庸

大野嘉光 大塚猛志 内山雄二

石引勝好 大竹英行 大野澄枝

特別表彰(女性消防団退団者)

大原和子 岡野はるえ 川村秀子

篠田育代 高山幸子 田中一枝

米山由美子 各務清子 久松公江

(平成10年7月29日火災発生の際の初期消火活動者)

大砂秀雄 大野佳美 荒井尊男
向後憲壽

新春恒例の消防出初式が1月10日、消防団員や関係者ら約300人が参加して、環境改善センター前の駐車場で行われました。

団員の皆さんは、人員、服装、機械器具の点検などをきびきびした動作で行い、今年一年の消防活動への決意を新たにしました。

この後、環境改善センター内に会場を移し、野高町長からの講評訓示、優良分団や団員の表彰、来賓の方々の祝辞などがあり、自主防災への原点ともいえる消防団が、防災にかける意気込みをアピールしました。なお、受賞者は次のとおりです。

消防出初式

消防活動への決意新たに

12月23日に小・中学生の優れた科

学研究作品をたたえる「サイエンス

・グランプリ98コンクール」(東京

電力主催)の表彰式が都内で開かれました。

今回応募した関東7都県と山梨、静岡各県から、小学生の部に11、54

9点の作品の応募があり、中学生の部で茨城県地区代表の金江津中2年

生サイエンスサークルの「なぜたれ

る?滴りの研究」が審査委員特別賞

を受賞しました。



サイエンス・グランプリ98

(理科大賞)

金江津中2年生審査委員特別賞受賞



文化放送アナウンサーからインタビューを受ける金江津中学校新蔵先生

作品は、味噌汁やジュースなどをコップや器に移すときに起こる“じたり”について、容器の直径や自身の流速、流量に目を向けて、自作の器具を作製して研究し、着眼点や独創性という面で特に優れており、写真やイラストを効果的に使つて、大変わかりやすくまとめられたレポートです。

今回受賞したサイエンスサークルのメンバーは小川雅人君、佐久間春行君、久松寛明君、大竹雅之君、松村俊宏君、山崎琢也君の6名です。

□ ガイド

役 場 ⑧4 2 1 1 1

FAX ⑧4 4 3 5 7

水 道 課 ⑧4 2 3 6 1

つつみ会館 ⑧6 3 7 4 0

保健センター ⑧4 4 8 6

学校教育課 ⑧4 3 3 2 2

生涯学習課 ⑧4 2 8 4 3
(中央公民館)

給食センター ⑧4 2 8 4 5

福祉センター ⑧4 3 6 9 9

みんなの窓



お知らせ

□ 62-4214

■ 受付締切り 3月31日
■ 訓練期間 各科目とも3年
■ 申込み・問合せ先 龍ヶ崎地区高等職業訓練校

■ 専攻科目 木造建築科、左官科、とび科、板金科

■ 勤きながら技能を学ぶ!
龍ヶ崎地区高等職業訓練校では、次のとおり訓練生を募集します。職業訓練校とは、関連する企業などに就職し、現場作業の実地指導を受けながら、さらに訓練校で知識や技能などを習得するものです。

■ 勤きながら学べる通信制!
向学の意志を持ちながり、いろいろな事情で毎日通学できない方も、職場や家庭にいながら学べる学校です。

職業訓練校
訓練生募集

募集

県立水戸南高等
学校通信制課程

2月の納税

- ◇ 国民年金保険料 11期 ◇
- ◇ 固定資産税 4期 ◇
- ◇ 国民健康保険税 6期 ◇

徴収日は3月1日です。

みの者。
(新制中学校を卒業していな
い方はお問合せ下さい。)

願書受付期間
3月8日(月)～3月26日(金)
(13日の土曜日、日曜日及び
祝日は除く)

午前9時～午後5時
(20日の土曜日は正午まで)

提出書類の請求

封筒に返信用の切手160円分を同封のうえ、紙片に

郵便番号・住所・氏名を明記して申し込み下さい。

■ 願書請求・問合せ先

〒310-10804
水戸市白梅2-10-10
茨城県立水戸南高等学校

(通信制)

☎ 029-247-4284
6173

申告・納付期限の3月15日間近になると、税務署の窓口は大変混雑し、長時間お待ちいただくようなことになりかねません。申告は自分で書いて、できるだけ早めに提出してください。申告書は郵送でも提出できます。



生活
固定資産税
課税台帳の縦覧

固定資産税の課税台帳の縦覧を、3月1日から3月23日まで行います。縦覧を希望する方は、役場税務課までおいで下さい。(土、日は除く)



3月15日(月)まで

平成10年分所得税
の確定申告



善意のご寄付

(敬称略)

河内町みのり会

20、944円

矢島小林工業(株)

46、621円

長竿小学校PTA

17、420円

源清田 篠原志津江

硬貨計算機
1台

315、000円

貴友会
(左写真)



——社会福祉協議会へ——

休日診療 当番医

◇江戸崎地区

【2月】

28日 江戸崎病院 0298-94-2611

【3月】

7日 本橋医院 0298-92-2308
14日 坂本(美)医院 0298-92-2627
21日 和田医院 0298-94-2412
22日 坂本(隆)医院 0298-92-2232

◇竜ヶ崎地区

*上段が内科、下段が外科です。

【2月】

28日 山村医院 66-0555
さくらクリニック 65-1211

【3月】

7日 八代内科医院 64-1710
斎藤クリニック 64-3527
14日 三石内科クリニック 62-2234
みやおかクリニック 62-3761
21日 横田医院 62-0047
飯野クリニック 60-2323
22日 吉澤胃腸科医院 66-0977
朝野医院 62-0178

*都合により、当番医が変更になる場合もあります。診療を受ける際は、必ず電話で確かめてください。



米穀小売業者の登録 (新規・更新)申請のお知らせ

登録の申請期間及び登録日

申請期間	登録日
3月15日～4月30日	6月1日
9月15日～10月31日	12月1日

問合せ先 役場産業課
(内線 141～143)
5,000円を加算

保証は県労信協の保証
金利は年3.00% (変動)
リレー返済あり

問合せ先 在の金利
141～143

金利は平成10年9月21日現
3.50% (固定)

教育ローンと利子補給制度

茨城県勤労者育英基金では、

勤労者のお子様の教育応援として、労働金庫の教育ローンを利用者に対し利子補給を行っています。

【利子補給制度】

利子補給は年1%

借入金のうち子供一人当たり100万円(一家庭300万円)まで対象

在学中のみ(最長4年以内)

融資額300万円(労金の会員は500万円)

【教育ローン】返済期間15年以内、在学中は元金返済据置可、親子

販売所の所在する市町村
(複数の販売所を有する場合は、主な販売所の所在する市町村)又は県南地方総合事務所農業課に持参下さい。

1店舗を越えるごとに

販売店が1店舗の場合

販売店が2店舗以上の場合

(県の収入証紙により納付)

9,000円



※詳しくは最寄りの労働金庫窓口へお問合せください。
029-221-4181

労働金庫本店
029-221-4181

労働金庫美浦支店
029-221-4181

3月のゴミ収集カレンダー			
資源回収日		燃えないごみ収集日	
A地区	2.16、30	C地区	9.23
B地区	3.17、31	D地区	10.24
燃えるごみ収集日		プラスチックごみ収集日	
全地区	毎週月曜日と金曜日	全地区	毎週木曜日
粗大ごみの予約収集日		3月中の予約 → 4月3日	
■問合せ先 都市計画課 環境衛生係 ☎ 内線155、156			

心配ごと相談所

- 3月1日(月) 午前10時～正午
- 3月15日(月)

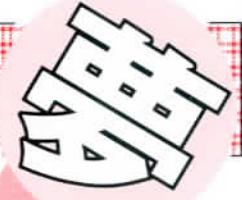
◇会場 旧西共同利用施設

◇問合せ先 社会福祉協議会

☎ 84-2830

ぼくの わたしの

[源清田保育所]



山本 正明くん
野球選手



斎藤 佑哉くん
サッカー選手



田沼 一樹くん
ガソリンスタンドの店員



豊嶋 紗穂ちゃん
お花屋さん



小口さや香ちゃん
看護婦さん



長谷川彩矢香ちゃん
ペットのお医者さん



山田 彩ちゃん
お花屋さん



小更 翔子ちゃん
お花屋さん



短 歌

かわち短歌会

水くきのあと麗しきその人の心学ばむ今日も筆持つ
くれなるの山椿咲く道の辺に癌にて逝きし姉の墓あり
井戸の水竈に沸かし神に供ふ貧しき正月樂しかりにき
徒に過ぎこし時は長くして夕日ひた追ふ旅人か我
交差点に人避けそこね立ち止る齡といふを雜踏に知る
庭隅の土龍の盛りし土の邊もあらたま日の差しきたるかも

俳 句

かわち俳句会

野 大 浩 青 山 か
平 野 木 田 げ
一 文 幸 根 本
鷗 子 洋 保 たけし
鷗 子 洋 保 夫 郎

腕白も餅類張るやどんと焼	白には白の色ありて咲く花ハツ手	残されし齡いくばく冬莓	人波に友の顔あり初大師	吉田四郎	鴻野たけ	飯塚まさよし	枯枝の綾なす影や寒の月	元旦の試筆にいどむ心あり	細谷雨月
平川和楓	飯塚まさよし	飯塚まさよし	吉田四郎	津根としお	吉田四郎	吉田四郎	川口ふく	川口ふく	川口ふく
人波菩薩みんなでおがむ千代の春	救世菩薩みんなでおがむ千代の春	軒先にこぼれるやうな寒雀	人波に友の顔あり初大師	山田幸夫	山田幸夫	山田幸夫	神崎迪太郎	篠本しげる	篠本しげる
人波に友の顔あり初大師	人波菩薩みんなでおがむ千代の春	茶髪の娘馴れぬ晴着の初詣	吉田四郎	石井一江	石井一江	石井一江	川口ふく	川口ふく	川口ふく
吉田四郎	吉田四郎	木枯しに逆いにけり万歩計	津根としお	大関さと	大関さと	大関さと	川口ふく	川口ふく	川口ふく
鴻野たけ	鴻野たけ	老二人除夜の鐘聞く侘住居	山田幸夫	根本たけし	根本たけし	根本たけし	川口ふく	川口ふく	川口ふく
飯塚まさよし	飯塚まさよし	根本たけし	吉田四郎	吉田四郎	吉田四郎	吉田四郎	川口ふく	川口ふく	川口ふく

町の歴史 あれこれ

町史編さん嘱託員 鈴木 久

(45)

わたしと瑞穂村

みすほ 瑞穂村 (その1)

—成立から分村へ—

瑞穂村にはわたしの忘れられない思い出があります。戦病死した少年兵の兄の遺品にあつた昭和一九年一〇月一五日付のわたしからの葉書にそのことが記されています。二日間瑞穂村の出征兵士留守宅に明日から泊まり込みの労力奉仕に出かけ、お国の役に立つのだと誇らしく報告しているものです。昭和一九年、戦局はいよいよ厳しく、勤労動員は常態化していました。

竜ヶ崎中学校には陸軍部隊が駐屯し、上級生は阿見航空隊の掩体壕掘りに、わたしたち一・二年生は八原飛行場建設

で奉仕に出かけ、お国の役に立つのだと誇らしく報告しているものです。昭和一九年、戦局はいよいよ厳しく、勤労

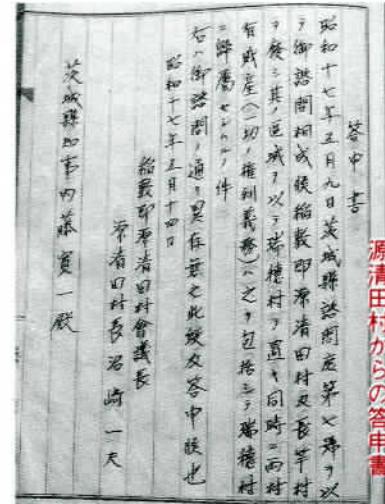
活動は常態化していました。

町の沿革図にあるように、瑞穂村は昭和一七年八月一日に源清田村と長竿村の合併で成立しました。幸い県歴史館に関係文書綴がありましたので、その間の事情をそれを頼りに辿ってみることにしました。

まず昭和一〇年、県は県下の町村を優良・不良に分け、九九ヶ町村に合併を勧奨しましたが、そのなかにすでに両村の名が見えます。河内地方は大正から昭和にかけて小作争議の頻発地域で、特に長竿地区は「最激甚地」として知

に、さらに秋に應召農家の勤労奉仕に行きました。わたしは四人ほどで手栗の内田さん宅で働きました。

県からの合併の勧奨



村会改選前に議決を終えるべく至急正式の諮問を発せられたいとし、新村名は「県ニ於テ適當御名付方御取計相成り度」と付け加えています。瑞穂村の名称はすでに県で用意され、翌々日九日の県からの正式な合併諮問には瑞穂村の名称が使われていました。

られていました。農村の不況

対策と戦争と国策への協力を図る「農村経済更正運動」の中で長竿村は昭和一四年に経済更正指定町村に指定され、地主・小作「協調体制」づくりの使命を負うことになりました。しかし合併は進まず太平洋戦争に突入します。

食糧増産の 悲願をこめて

その諮問の「合併ヲ可トスル理由」には、當時源清田村は戸数四一二戸、長竿村は戸数三二六戸の小村で、昭和一〇・一三・一六年と相続

く水害による個人及び村財政の窮乏がすすみ、合併による歳出節減で村財政の確立を図る必要がある

とし、さらに長竿村のこれまでの役場派と非役場派の対立抗争の解決には村域の拡大が必要としています。

五月一四日に両村議会で合併答申が承認されました。長竿村では依然反対意見があり、「異存無之」の原案は修正され「諮問ノ通り」との答申が県に提出されました。県の内務大臣宛合併許可申請

の内務大臣宛合併許可申請 (七月一日付) には「瑞穂村」の村名選定の理由を次のように述べています。「現下大東亞戰食糧増産ノ緊切ナル時ナルヲ以テ両村民ハ協力一致増産ノ遂行ト災禍ノ創痍克服ト



瑞穂村の発足

内務大臣の許可に基づき、八月一日より瑞穂村が発足することが県報で告示され、県から井川長雄氏が村長職務監掌として派遣され、八月一五日瑞穂村第一回の村委会議員選挙が実施され、二八日、沼崎一夫氏が初代村長に就任し、役場は源清田村役場に置かれました。

おめでた

おくやみ

赤ちゃん	保護者	地 区
恵み莉芽	浩二	宿 菅平
奏も美夢	浩也	卷 伊藤
とよゆき	達也	堤 秋山
歩み勇	信一	中金江津 遠海
かたる	雅	里 老原
かとう	寿亮	田 正通
かとう	広一	北河 清
かとう	澄修	砂更川 通く
かとう	修正	砂賀 恒
かとう	千代	砂賀 桂
かとう	大	砂賀 基
かとう	衣匡	砂賀 基
かとう	あ	砂賀 基
かとう	梓	砂賀 基
かとう	拓	砂賀 基
かとう	由	砂賀 基
かとう	菜	砂賀 基

氏 名	年 齢	地 区
島 田	93	平 三郎
伊 藤	85	内 野
秋 山	88	片 卷
遠 海	66	流 作
老 原	40	早 井
更 川	67	遠 下
智 井	83	大 锅
口 田	93	上 金
野 野	68	江 津
澤 野	85	中 宿
宅 井	91	砂 砂
山 口	83	下 四ツ
山 口	89	上 金
山 口	84	江 津
山 口	78	下 金
山 口	66	片 卷
山 口	64	砂 保
山 口	83	保 小
木 本	70	堤 村
木 本	84	山 卷
内 藤	70	上 金
内 藤	81	江 津
石 山	92	新 橋
石 山	75	安 町
小 卷		
組		

*掲載を希望されない場合は、届出の際に申し出てください。

町の人口と世帯

平成11年2月1日現在
人 口 11,984人（-8）
男 5,926人（-8）
女 6,058人（±0）
世帯数 3,210戸（+2）



河内の先人は、水とたたかいながら營々として田畠を耕し、利根川水運を利用して江戸と結びつき、豊かな経済と文化的風土をつくりあげてきました。簾蔵河岸の常夜燈、妙行寺境内の三義人供養塔、各地に立つ水利記念碑がその歴史を見守っています。田川の岩橋一白を頻繁に訪れ、河内をこよなく愛した一茶、多くの学者・文人が活躍し、平安末期にまで遡ることができます。洞院境内に句碑を連ねた曲流舎の俳人達、福田錦斎をはじめとする漢学者、近くは、長塚節に次ぐ歌人と称される大野誠夫、数多くの貴重な文化財を遺し、人々の心をつなぐ懐かしい祭や行事を今に伝えていきます。

次回から、河内の自然と歴史にふれられる、いくつかの散歩コースを紹介いたします。

